# 市民のキャパシティ・ビルディング: 参加型会議と継続教育

的場 信敬 龍谷大学政策学部 matoba@policy.ryukoku.ac.jp

### 自己紹介

- 政策学部教授、地域協働総合センター長、たんたんエナジー株式会 社取締役
- 学位: Ph.D. in Urban and Regional Studies,
  University of Birmingham, UK
- 職歴: NPO法人グラウンドワーク福岡主任研究員 → 龍谷大学 LORC博士研究員 → 現在、龍谷大学政策学部教授
- 専門: 持続可能性論、地域ガバナンス論
- 現在の研究: エネルギー政策による持続可能な脱炭素型地域社会 の実現

## 本日の内容

● 市民参加のプロセスを通した市民のキャパシティ・ビルディング: ローカル・アジェンダ21 (LA21)

● 人材の継続的な創出と定着: 継続教育と資格フレーム ワーク

# ローカル・アジェンダ21 (Local Agenda 21:LA21)とは

- 1992年の「国連環境開発会議(地球サミット)」で、「持続可能な発展」の地域レベルでの実践ツールとして設定
- 参加型・パートナーシップ型の戦略的行動計画の策定プロセスと実践に特徴
- 日本では、同時期に登場した環境基本計画と混同、参加型・パートナーシップ型プロセスの重要性への認識の欠如、などから次第に衰退
- ◆ オーストリアでは、LA21を「グッドガバナンスのモデル」として、すべての州にLA21の 支援組織を設置
  - → 全自治体の約2割にあたる約430自治体と約40地域が取り組む
  - → 「LA21は、市民が機会を捉え、持続可能性へのアイディアをプロジェクトで実現できるように、市民の能力を高める」(BKUEMIT, 2021, pp.5-6)
- 国際的には、多くの国々で現在も取り組みが進む → 「古いシステム = 使えない」とは 限らない

### ウィーン市におけるLA21の運営体制

ウィーン市の政策への インプット

> 運営 **LA21** ウィーン

コミュニティの サポートチーム サポート

情報提供

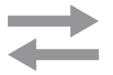
参加型取組みの相談

助言・提案

LA21運営委員会

- ・WGの代表者 (住民)
- ・議会の全ての政党の代表
- •区長•副区長
- ・LA21ウィーン職員など

決議・提案



参画•諮問

区議会

PJØ 相談



PJの企画・ 実践サポート

WG代表者の

参画

投票• 立候補

プロジェクトA WG

プロジェクトB WG

プロジェクトC WG

プロジェクトロ WG

LA21のプロジェクト

ウィーン市の区民

出典:的場(2023)

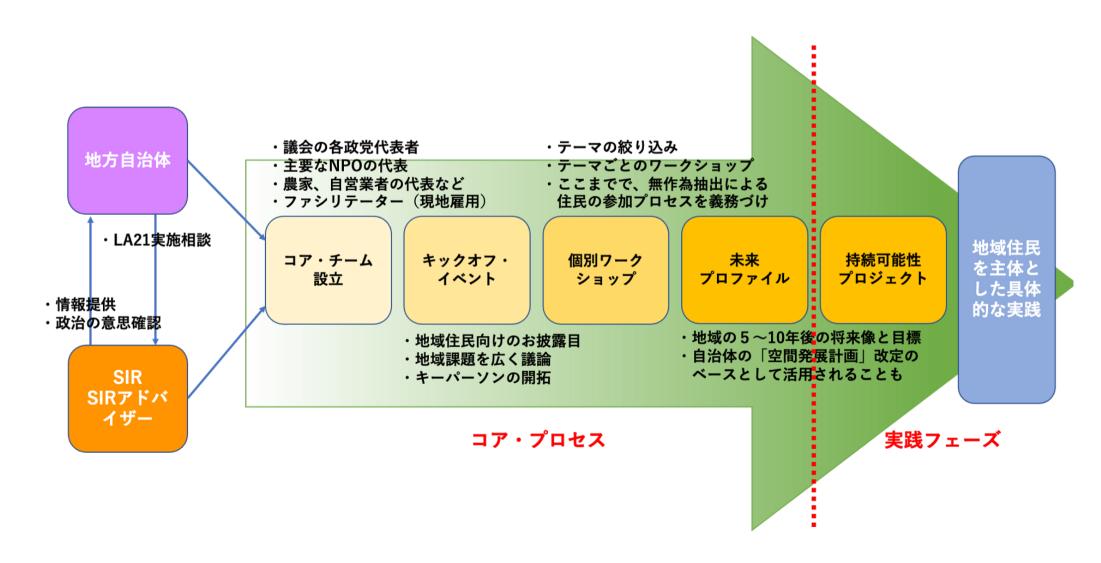




## ザルツブルク州のLA21の体制

- 州政府の「気候エネルギー戦略2050」の実現ツールの1 つとして位置付け
- 中間支援組織「ザルツブルク空間計画・住居研究所 (SIR)」のSIRアドバイザーによる自治体向けサポート → 政治家の意志を導き出し、地域のプロジェクトにつなげる重要な役割
- コア・チーム設立 → キックオフ・イベント → 個別 ワークショップ → 未来プロファイル・持続可能性プロ ジェクト、というパッケージ化されたプロセス

## ザルツブルク州内のLA21実践プロセス



### 継続的な人材の養成:継続教育の役割

- 脱炭素・エネルギー政策分野におけるフォーマル教育の限定的な役割: 地域 社会のさまざまなリソースを繋いでプロジェクト化・政策化するコーディネー ション、コミュニケーションなどの能力へのニーズ
- 雇用の流動性が高い欧州の労働環境 → 日本においても、リカレントやリスキリングへのニーズの高まり
- ◆教育プログラムの充実(内容と機会)とプログラムで得た能力の見える化(修 了証、資格)
- それらの修了証や資格が組織内での昇進やキャリアチェンジに活用できる社会
- 多様なプロバイダー: 大学、専門学校、エネルギー・エージェンシー、環境 NGO、商工会議所、業界団体など

### エネルギー研究所フォアアールベルク: エネルギー・アドバイザー養成講座

- 「エネルギー・アドバイザー」はオーストリア全土で通用する資格。養成講座は30年の歴史を誇る
- 国内のすべての州とそのエネルギー・エージェンシーが参加する質保証組織「ARGE-EBA (Arbeitsgemeinschaft Energieberater Innen-Ausbildung)」が、学習内容と質の統一化及びカリキュラムのアップデートを行う
- 基礎講座 (Aコース) と上級講座 (Fコース) : 基礎講座は誰でも受講可能。上級講座は 基礎講座の修了が条件
- 上級講座は、チロル州のエネルギー・エージェンシー(エネルギー・チロル)と共同で開講
- 受講生の多くは、アドバイザーを目指す人だが、単に知識のために受講してもOK → ヒートポンプのメーカーが継続教育の一環として活用する例も
- ●修了者には修了証を発行 ー エネルギー・エージェンシーで働く人は両方の講座を終了していることが多い

### エネルギー研究所フォアアールベルク: 「建築物・エネルギー基礎講座」(Aコース)

- 50時間の授業(個人による5時間の文献調査含む)+修了試験(2時間)
- 1週間の集中講座(1日あたり8~10時間!)
- 受講料: EUR 980 (休憩時のお茶代含む)
- 講義内容:
  - ●プラニングの基礎
  - 構造工学と建築物理学の基礎、建築材料と部材設計
  - 換気技術と気密試験
  - ●温水の準備と分配
  - ●熱分配と制御
  - 収益性、建物分析、補助金
  - ●エネルギーコンサルティングの方法論、コミュニケーション

### 公認エネルギー・コンサルタント講座(Fコース)

- 基礎講座(Aコース)を修了後、エネルギ・アドバイザーの資格取得 を望む人向けの上級講座
- 120時間・11日間にわたる集中講座(12時間分の個人による文献調査、10時間分のエネルギー性能証明に関する実地プロジェクト、10時間分のエネルギー・コンサルティングの実地プロジェクトを含む)
- 受講料: EUR 2,100
- 講義内容(一部):法的枠組み、エネルギー戦略のための技術、エネルギー証書、太陽光発電と蓄電、水力学と熱分布、建築評価システム、コスト効率、未来のモビリティ、エネルギー・コンサルティングにおけるコミュニケーション

### FNFRGIF **AKADEMIE**



Berufliche Weiterbildung

### ZERTIFIZIERTE/R ENERGIEBERATER/IN (F-KURS)

Aufbauend auf den Lehrgang "Grundlagen der Energieberatung (A-Kurs)" wird das Augenmerk besonders auf Spezialthemen des energieeffizienten Bauens und Sanierens gelegt. Die Ausbildung befähigt zu kompetenten Energieberatungen, zur Erstellung von Sanierungskonzepten, Energieausweisen\* u.v.m. Die Zertifizierung zur/m Energieberater/in erfolgt durch eine Prüfung gemäß den Richtlinien der ARGE EBA.

(\*Auskünfte zur rechtlichen Befugnis über die Ausstellung von Energieausweisen erhalten Sie bei der WKO)



#### **ZIELGRUPPEN**

Mitarbeiter/innen von Planungs- sowie von ausführenden Firmen im Bereich Bau- und Haustechnik mit entsprechender einschlägiger Berufsausbildung sowie alle, die den A-Kurs absolviert haben und sich für eine Tätigkeit als Energieberater/in qualifizieren wollen.

#### Teilnahmevoraussetzungen:

Lehrgang "Grundlagen der Energieberatung (A-Kurs)"

#### INHALTE

- ightarrow HWB im Energieausweis
- → Haustechnik im Energieausweis
- → Haus der Zukunft
- → kostenoptimiertes Bauen
- → Gesetzliche Rahmenbedingungen RL6
- → Sanierung in Schutzzonen
- → Ökologie am Bau, OI3-Index
- → Luft- und Winddichte Vertiefung
- → Wärmebrücken und Dampfdiffusion - Vertiefung
- ightarrow Thermografie
- → Schimmel

- → Technologien für die Energiestrategie
- ightarrow Photovoltaik und Speicher
- ightarrow Komfortlüftung Vertiefung
- → Hydraulik und Wärmeverteilung
- → Speichermassen, Bauteilaktivierung, Sommerliche Überwärmung
- ightarrow klimaaktiv Heizsysteme
- → Gebäude-Bewertungssysteme
- → Förderungen Vertiefung
- → Förderoptimiert Bauen und Sanieren
- → Baubook
- → Wirtschaftlichkeit

- → Mobilität der Zukunft
- → Kommunikation in der Energieberatung
- ightarrow Exkursion
- → Projektarbeit: Energieausweis
- → Projektarbeit: Energieberatungsprotokoll





## エネルギー研究所フォアアールベルク: 自治体職員向け講座

- 「気候保全総合講座」と「モビリティ(交通)講座」の2種類。気候同盟ザルツブルクと共同で提供
- 先進事例訪問など実践的な学びを重視
- 2日間連続の講座を3回受講した上で、レポートを提出しパスすると修了証を得られる
- 受講生の多くは、自治体に入って間もない職員、e5自治体職員 も ー 自治体の職員研修の場として機能
- 受講料は州から50%の補助、残りは自治体から出るため個人の負担はない

# 継続教育の学びを社会に位置付ける 資格フレームワーク

- European Qualifications Framework (EQF): 学位と職能資格を統合して整理
  - → 国別のNational QFをEQFに合わせることで、域内の留学や労働力の流動化に対応
- イギリスでは、多くの業界団体や専門職団体がさまざまなレベルの職能資格を提供: 最古参の専門職団体「City & Guild」だけでも、美容・健康、デジタル・IT、エンジニア、農業、自然環境などの職能分野で350を超える資格を提供
- これらの職能資格は「Ofqual (職能資格を管理する政府組織)」のウェブサイトで検索可能: 例)NOCN Level 5 Certificate for Certified Energy Efficiency Practitioner (NOCNが提供するレベル 5 Certificateの省エネ実務者資格)
- イギリスでは、個人の取得した資格を「Personal Leaning Record」としてデータ化(教育省の機関が管理)

# EQFとRQF(英国のNQF)の互換表

博士レベル 修士レベル

学士レベル

| EQF | RQF                        |          |             |         |
|-----|----------------------------|----------|-------------|---------|
| 8   | 8                          | Award    | Certificate | Diploma |
| 7   | 7                          | 10-120時間 | 130-360時間   | 370時間以上 |
| 6   | 6                          |          |             |         |
| 5   | 5/4                        |          |             |         |
| 4   | 3                          |          |             |         |
| 3   | 2                          |          |             |         |
| 2   | 1                          |          |             |         |
| 1   | 基礎レベル3<br>基礎レベル2<br>基礎レベル1 |          |             |         |

### 日本での新たな取り組みと課題

- キャリア段位制度の「エネルギー・環境マネージャー」: 4つのレベルがあり、検定試験(レベル1のみ)のほか、既取得の資格や講座の履修、実務経験などについて、レベルに応じたチェックを受けて認定される
- 「脱炭素アドバイザー」: 環境省が2023年に設定。3つの認定レベル (ベーシック、アドバンスト、シニアアドバイザー)があり、研修プログラムを提供する資格事業者が資格を授与(認定者は環境省)
- 気候変動分野で活躍する人材へのインタビューからは、これらの資格への 認知度はまだ高くないことが伺える
- 日本ではNQFが整備されておらず、これらの制度も互換性がないため、各 資格がどの程度の能力を有する資格として機能しているかがわかりにくい
  - → 今後激化する海外との人材獲得競争で不利になる可能性

# 脱炭素アドバイザーの認定資格一覧

| 「脱炭素アドバイザー アドバンスト」の認定資格(2024年9月1日認定) |                      |  |  |
|--------------------------------------|----------------------|--|--|
| 資格名                                  | 資格事業者                |  |  |
| JCNAカーボンニュートラル・アドバイザー・アドバンスト         | 一般社団法人日本カーボンニュートラル協会 |  |  |
| GX検定アドバンスト                           | 株式会社スキルアップNeXt       |  |  |

| 「脱炭素アドバイザー ベーシック」の認定資格(2023年10月1日認定) |                         |  |  |
|--------------------------------------|-------------------------|--|--|
| 資格名                                  | 資格事業者                   |  |  |
| サステナビリティ検定「サステナビリティ・オフィサー」           | 一般社団法人金融財政事情研究会         |  |  |
| サステナブル経営サポート                         | 株式会社経済法令研究会(銀行業務検定協会)   |  |  |
| SDGs・ESG金融                           | 株式会社銀行研修社(一般社団法人金融検定協会) |  |  |
| 炭素会計アドバイザー資格3級                       | 一般社団法人炭素会計アドバイザー協会      |  |  |
| GX検定ベーシック                            | 株式会社スキルアップNeXt          |  |  |

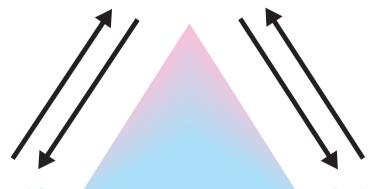
<sup>※ 2024</sup>年9月30日時点で、脱炭素シニアアドバイザーの認定資格はなし

出典:環境省「脱炭素アドバイザー資格の認定制度」ウェブサイト

# ザルツブルク州の地域民主主義の解釈

州議会・政府、 地方自治体首長

### 議会制民主主義



直接民主主義

国民投票、 直接請求、署名 参加型民主主義

アジェンダ 21、 市民議会、 参加型地域プロジェクトなど

## 参考文献

- Bundesministerium Klimaschutz, Umwelt, Energie, Mobilität, Innovation und Technologie (BKUEMIT) (2021), LA21-Basisqualitäten 4.0: Prozessorientierte, partizipative und inhaltliche Basisqualitäten für Lokale Agenda 21-Prozesse in Österreich
- Wells, R., Howarth, C. and Brand-Correa, L. I. (2021). "Are citizen juries and assemblies on climate change driving democratic climate policymaking? An exploration of two case studies in the UK," Climatic Change, 168(5), https://doi.org/10.1007/s10584-021-03218-6
- 的場信敬・平岡俊一(編著)『脱炭素地域づくりを支える人材:日欧の実践から学ぶ』(日本評論社、2025年)